

事務事業名	総合運動公園整備事業				担当	建設部 都市計画課 総合運動公園整備係	
政策名	1	「人づくり」～豊かなこころアップ！～				☒ 総重（総合計画重点事業）	☐ 総新（総合計画新規事業）
施策名	6	生涯スポーツ・レクリエーションの振興				☐ 戦拡（総合戦略拡充事業）	☐ 戦新（総合戦略新規事業）
関連個別計画	真岡市地域防災計画				事業期間	☐ 単年度のみ	
法令根拠						☐ 毎年度実施（開始年度 年度～）	
予算科目	1.一般会計	10.教育費	5保健体育費	2体育施設費		☒ 期間限定複数年度（平成7 年度～ 令和11 年度）	
予算科目							
事業概要	心身ともに健康で活力ある生活を実現するため、総合運動公園を整備する。また、真岡市地域防災計画に基づき防災拠点としての整備・機能の充実を図る。 【整備概要】 ○全体面積 27.2ha ○整備完了エリア 北ブロック（1～2期）、面積：14.3ha、期間：H23～H30、施設：陸上競技場、多目的広場、子ども広場、相撲場、弓道場、テニスコート、乗り物広場、クラブハウス、園路・駐車場 南ブロック（3期）、面積：8.2ha、期間：R1～R6、施設：運動広場1（人工芝サッカー場）、市民球場、防災倉庫、芝生広場、園路・駐車場 ○整備中エリア 南ブロック（4期）、面積：2.8ha、期間：R7～R11、施設：芝生広場、園路・駐車場 ○整備予定エリア 南ブロック（5期）、面積：1.9ha、期間：未定、施設：運動広場2 【地域防災計画による防災機能】 ○地域物資拠点……支援物資の集積・仕分け・提供を行う ○指定緊急避難場所…想定収容人数 10,000人						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）				④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
6年度実績 3期工区内の市民球場（スコアボード、グラウンド整備、防球ネット、夜間照明）、園路・駐車場、広場の整備 7年度計画 4期工区内の敷地造成および駐輪場等の整備				名称	単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
				ア 3期工区進捗率（事業費ベース）	%	40.9	41.3	70.5	100	-
				イ 4期工区進捗率（事業費ベース）	%	-	-	-	-	13.5
				ウ						
				エ						
				オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民				⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
				名称	単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
				ア 人口	人	78,592	77,635	77,578	76,972	76,498
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 総合運動公園を整備することで、市民ひとり1スポーツを推進する				⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
				名称	単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
				ア 運動公園整備率（面積ベース）	%	64.9	65.0	73.8	82.7	84.1
				イ 27.2haのうち市民が利用できる面積	ha	17.0	17.8	17.8	17.8	22.5
				ウ						
				エ						
				オ						
(2) 総事業費の推移				単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	104,148	44,893	438,807	171,200	9,000	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	98,700	54,500	638,100	758,000	62,800	
			その他	千円	23,500	16,500	79,300	103,600	17,200	
			一般財源	千円	118	143	141	965	0	
	事業費計（A）			千円	226,466	116,036	1,156,348	1,033,765	89,000	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 「真岡市総合計画 2020-2024」の重点プロジェクトとして、[施策1-6]生涯スポーツ・レクリエーションの振興に位置付けられている。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 「真岡市総合計画2020-2024」に加え、令和元年度策定「真岡市スポーツ推進計画」においても、スポーツに取り組む土台づくりとして総合運動公園の整備を挙げている。 また、防災拠点としての本運動公園の整備は、早期に取り組む必要がある。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	☒ 対象・意図を見直す必要はない ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある (評価理由) 「真岡市総合計画 2020-2024」及び「真岡市スポーツ推進計画」において、市民ひとり1スポーツの推進、災害時に防災拠点・緊急避難場所としての利用を目的としているため、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地はない ☐ 向上余地がある (評価理由) 市民の意向や費用対効果を考慮した整備計画に基づき、整備している。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	☐ 類似事業と統合・連携ができる(類似の事務事業名：) ☐ 類似事業と統合・連携できない(類似の事務事業名：) ☒ 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある (評価理由) 必要最小限の事業費で実施しており、国庫補助事業(防災・安全交付金：補助率1/2)も積極的に活用している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） ☐ 廃止 ☐ 見直し（☐：目的妥当性 ☐：有効性 ☐：効率性） ☐ 統合 ☒ 継続 真岡市総合運動公園南ブロック基本計画に基づき、計画的に整備している。 令和7年度は、4期工区の初年度として駐輪場整備や敷地造成を実施していく。	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td style="background-image: linear-gradient(to bottom right, transparent 49%, black 49% 51%, black 51% 55%, transparent 55%); background-size: 200% 200%;"></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td style="background-image: linear-gradient(to bottom right, transparent 49%, black 49% 51%, black 51% 55%, transparent 55%); background-size: 200% 200%;"></td> <td style="background-image: linear-gradient(to bottom right, transparent 49%, black 49% 51%, black 51% 55%, transparent 55%); background-size: 200% 200%;"></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(2) 課題、課題の克服の方向性 市民ニーズや資材の価格高騰など社会情勢の変化に対応しながら、計画的に整備を進めていく必要がある。																						

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足(説明責任不充分) ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他 2次評価会議で指摘された事項 4期工区については整備内容を充分精査し計画的な整備を進めること。																						